



薬剤部

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2024-06-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001640

Effects of acute tocolysis using ritodrine hydrochloride on foetal heart rate patterns in intrauterine foetal resuscitation: a retrospective, single-centre observational study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology*. 202205; 42(4):563-568.

Kanno A, Kyojuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202201; 48(1):103-112.

Kyojuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 202210; 102:111708.

Yasuda S, Kyojuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. *PLOS ONE*. 202211; 17(11):e0275573.

Kyojuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202206; 28:114-120.

薬剤部

論文

〔原著〕

黒田純子. 患者さんのケアのポイントが満載！整形外科ならではの鎮痛薬 薬剤一覧表. *整形外科看護*. 202209; 27(9):886-887.

野村久祥, 伊與田友和, 本田雅志. みんなはどうしてる？患者と病院に何を伝えればいいの？教えて！がん患者フォローアップ術（第5回）オキサリプラチンによる末梢神経障害. *調剤と情報*. 202201; 28(1):98-107.

野村久祥, 伊與田友和, 本田泰斗. みんなはどうしてる？患者と病院に何を伝えればいいの？教えて！がん患者フォローアップ術（第8回）パニツムマブによる蕁麻疹への対応. *調剤と情報*. 202204; 28(5):733-742.

野村久祥, 伊與田友和, 江淵愛. みんなはどうしてる?患者と病院に何を伝えればいいの?教えて!がん患者フォローアップ術 (第11回) セツキシマブによる爪囲炎への対応, 調剤と情報. 202208; 28(11):1996-2004.

伊與田友和. 【お薬立ち BOOK2022 解剖生理・病態生理から薬学管理へ】病態生理を踏まえた薬物治療・薬学管理へ 皮膚・粘膜障害 薬理と薬学管理上の注意点. 薬局. 202203; 73(4):1536-1539.

村上美紀, 鈴木詩子, 井上稜太, 高橋智子, 野地成子, 渡部智恵子, 松村勇輝, 佐野秀樹, 齋藤純平. 福島県立医科大学附属病院における特定臨床研究の現状—アンケート調査より—. 薬理と治療. 202212; 50(Suppl.2):s166-s171.

書籍等出版物

伊與田友和, 他. 第4章 疾患. In: 日本臨床腫瘍薬学会 編集. 臨床腫瘍薬学 第2版. 東京: じほう; 202209. p.273-574.

伊與田友和, 他. 第5章 支持療法. In: 日本臨床腫瘍薬学会 編集. 臨床腫瘍薬学 第2版. 東京: じほう; 202209. p.700-770.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

井上稜太, 鈴木詩子, 高橋智子, 野地成子, 村上美紀, 松村勇輝, 齋藤純平. 当院における特定臨床研究の現状—前年のアンケート調査との比較—. 日本臨床試験学会第13回学術集会総会; 20220204-05; 東京/Web.

鈴木悠平, 三浦至, 板垣俊太郎, 刑部有祐, 長岡敦子, 戸田亘, 佐久間春菜, 野崎啓子, 渡辺研弥, 矢部博興. クロザピンの血中濃度測定が有用と考えられた治療抵抗性統合失調症の2例. 第33回福島県精神医学会学術大会; 20220220; Web.

陣野大輔, 嶋崎翔, 菅野奈緒美, 鈴木優佳, 須藤孝浩, 黒田純子. 核医学検査の適正実施における薬剤師介入の有用性について. 日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会合同開催: 第76回医薬品相互作用研究会シンポジウム; 20220625; 山形/Web.

永島久義, 穴澤知也, 油井優, 石井重亮, 吉田裕美, 黒田純子. COVID-19入院患者に対するオンライン服薬指導システムを用いたインスリン自己注射指導. 日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会合同開催: 第76回医薬品相互作用研究会シンポジウム; 20220625-26; 山形/Web.

大堀裕太, 古内容子, 佐野秀樹, 大江敬太郎, 黒田純子, 菅原茂耕, 志賀哲, 織内昇, 稲野彰洋. ヨウ素¹³¹I-RadioImmunoTherapyにおける甲状腺ブロックの小児に対する経験. 第5回日本臨床薬理学会北海道・東北地方会; 20220709; 旭川/Web.

青砥孝道, 陣野大輔, 小久保博子, 大塚幹夫, 黒田純子. ヘパリンNa 製剤の過量投与によるインシデント再発防止への取り組み. 第32回日本医療薬学会年会; 20220923-25; 高崎.

大江敬太郎, 古内容子, 大堀裕太, 織内昇, 志賀哲, 菅原茂耕, 佐野秀樹, 稲野彰洋, 黒田純子. ヨウ素¹³¹-radioimmunotherapy 治療における小児甲状腺ブロック～ヨウ素製剤の検討. 第32回日本医療薬学会年会; 20220923-25; 高崎.

黒田純子, 伊與田友和, 大江敬太郎, 渡邊美保, 佐々木栄作, 金沢賢也, 鈴木弘行, 佐治重衡. irAEに対する適応外医薬品使用の体制とICI適正使用チームの連携について. 第32回日本医療薬学会年会; 20220923-25; 高崎.

穴戸玲太, 渡邊美保, 野地紘子, 穴戸琴美, 菅野奈緒美, 須藤孝浩, 黒田純子, 佐藤薫. メサドンと抗結核薬リファブチンとの薬物間相互作用が疑われた1例. 第3回日本緩和医療学会東北支部学術大会; 20221001; 福島/ Web.

大内虹輝, 石井重亮, 吉田裕美, 黒田純子. 持参薬確認業務の検証～医療安全推進に向けた取り組み～. 第26回福島県薬剤師学術大会; 20221030; Web.

高橋智子. 福島臨床薬学研究会 27年間の歩みとその評価. 日本薬史学会 2022 年会; 20221105; 仙台.

古内容子, 大堀裕太, 佐野秀樹, 大江敬太郎, 黒田純子, 菅原茂耕, 志賀哲, 織内昇, 稲野彰洋. ヨウ素¹³¹-Radioimmunotherapy における甲状腺ブロックとしてヨウ化カリウムとリオチロニンナトリウムを使用した経験. 第43回日本臨床薬理学会学術総会; 20221130-1203; 横浜.

〔その他〕

菅野奈緒美. 緩和薬物療法における服薬指導のポイント. 令和3年度薬局薬剤師を対象としたがん領域研修会; 20220222; Web.

山本ちひろ. 泌尿器系のがん治療について. 令和3年度薬局薬剤師を対象としたがん領域研修会; 20220303; Web.

助産師養成課程設置準備室

論 文

〔原 著〕

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyojuka H, Ogata Y, Sato A, Sanpei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H. Maternal